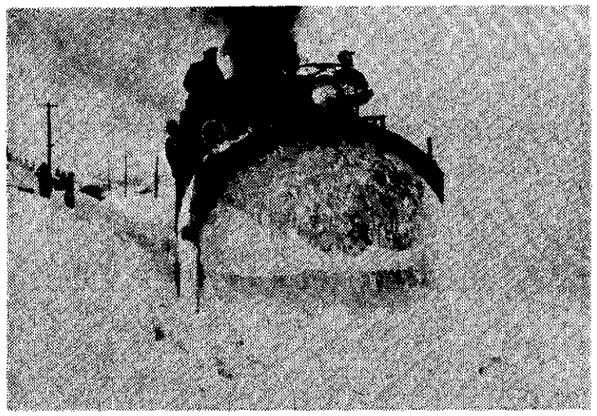
第127号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

なかさと

私たちの村

人口	8,384
男	4,133
女	4,251
世帯数	1,719

1月1日現在



年頭のご挨拶

中里村長 高橋幸作

希望も新たに昭和四十二年の新春を迎え、心から村民の皆様の幸福と繁栄をお祈り申しあげます。「一年の計は元旦にあり」と申しますが、中里村にとりましても将来の発展を考えるとき、現在の基盤の上に立った長期の見通しの必要性を痛感し、心新たに村民の付託に応えたい所存でございます。

さてわが中里村も発足以来十二年、この間、村民一致和合協力のもとに、新村建設をめざし一歩一歩着実に村行政を推進し産業、教育、福祉と各方面にわたり発展向上してまいりましたことは、村民の皆様と共によろこんでおります。

しかしながら、近年、社会情勢の進展は全く目まぐるしくさまざまな革新が進む一方、複雑な社会問題もまた数多くなめざましい経済成長と同時に社会開発の重要性が論議されております。このような時代の流れの中で、魚沼の山間豪雪地に耕地の少ない当村におきましては、農業の立運れは否めず、いわゆる所得の格差が顕著にあらわれ人口の流出、離農者や出稼ぎ家庭がふえ、農業の近代化が進む一面深刻な問題がありますが、多年の念願でありました、広大な清津川右岸段三地開拓事業を昨年県営事業として着工し、清津川土地改良区も設立され、中村農業の飛躍的な発展に大きく近ずくことができましたことはよろこびにたえません。これが事業の一日も早く完成することに力を注ぐとともに、本村農業の土地基盤をきらに拡大整備し経営の近代化に向って村行政の面からも大いに促進したい所存でございます。

こうした農業振興施策とともになんと申しましても、地域開発に欠くことのできない条件は交通道路の確保であります。主要地方道になっております高田松之山六日町線の十二時開きく及び同線改良工事をますます強力に促進し、中魚沼南部からの東京方面連絡路線を早期に確保しなければなりません。この路線につきましては、産業道路柏崎湯沢線としても国道格上げを関係市町村と結束し、積極的な運動を展開しており、また国立公園清津峡小出温泉に通ずる観光道路、冬期は南魚沼、北魚沼及び上越各地のスキー場と、肩を並べることのできるスキー場開発道路としても、大いに活かされる道路であります、今後共村民各位の絶大なるご協力をお願いする次第です。

なおまた社会の進展に即応して、教育の充実はもとより、公共福祉の改善も当面の重要課題であることは申すまでもありません。村行政全般にわたりきめ細かな施策はもちろんでありますが、村の置かれている諸条件を充分、分析検討して綿密な長期計画のもとにすすめなければ実現は困難であり、各位の深いご理解とご協力をいただき、国県の施策と相俟って、村財政力を活かしてまいりたいとおもいます。それにつけても早々やりたいと考えている問題は山積しておりますが、その中でも農業構造改善事業、幹線道路の除雪問題、融雪災害問題、人口急減出稼ぎ問題、保健衛生、辺地対策等々後進性の解消と、去る四十年秋の台風災害復旧事業の完遂であります。

何はともあれ、皆様方のご協力が得られなければ、なかなか容易でなく、今年も一層のご支援と鞭撻をお願い申しあげます。

年当にあたり一言ご挨拶申しあげまして、希望の多い年でありますよう願ねて心からお祈り申し上げます。

【近年にない大雪に見舞われこともかしこも除雪に追われ、山線でも、ロータリーを出動させ、列車運行にけんめい……写真は七日写す】

黒い霧
晴らす力だ この一票
1月29日
衆議院議員選挙

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の投票日が一月二十九日です。

投票時刻の繰上は次の投票所を朝七時から夕方四時に開繰いたしますから注意して下さい。

第二投票所、第三投票所、第四投票所、第六投票所、第七投票所、第八投票所、第九投票所、第十投票所、第十一投票所、第十二投票所。

なお次の投票所を豪雪のため二十八日に繰り上げましたから土倉倉下部落は注意下さい。第五投票所（土倉部落、倉下部落）

まるい心

中里村公民館長 斉藤大馨

新年おめでとうございます本年もどうぞ公民館に対してよき御理解と御協力をお願い申し上げます。

皆様には、にこにことよき新春をお迎えでございましょう。何が幸福と申しましても家中みんなまるい心で、仲よく暮すことこそ無上の幸福であります。

それ故新年早々どちらさまでも皆にこ〜としておいでになります。

家中がまるい心の福だるまで、心がまるいと言うことは、私共にとって一番大切なことでございます。まるい心は誰とでも仲よく和する心、私達がお互いに人格を尊重し、自分のことより世のため人のためを思う優しい慈悲の心であります。それを善提心と申します。わかりやすくは、真心のことであります。

人は皆まるい真心をもっておりますが慈深い心や、恨み憎む心や、わからずやの心の、色々の悪い心がまわりについて、とげ〜の心になるのです。そこでそのとげ〜の心を自分でとってしまいましょう。自分で取れないときは、神仏に合掌してお願いしましょう。きっと取って下さいます。私達が心のまるい真心になると、まるい心のダルマさんは、どんなにころんでも又ころばされても七転八起きで起き直るように、どんな困難にあってもその人の運勢は必ず開けるのでございます。

ダルマさんお笑いなされ
真心は
どうころんでも起きる運勢

本当に家中がまるい心で暮す楽しい吾が家、仲よい吾が家、それがこの世の一番の幸福であります。どんなにお金持の家でも家中とげ〜して、いらっしゃると幸福とは申せません。そうです世界中の人がみんなまるい心になれば、世界は平和で幸福でしょう。争い程悲しい不幸はありません。人間達は自分の慈深い心に何とか理屈をつけて争いをしているのです。どんな立派な理屈であっても、ごたごたもめている家はまめられぬように、私達は絶対に争いはやめなければなりません。

「ノー・モア・ヒロシマと言い乍ら何故アメリカもソ連も原子爆弾を製造しているのでしょう。私には大人の心が解りません」と、かって広島の一少女の級方を読んだことがありますが私達大人はこれに何と答えたらよいのでしょう。私達は静かに胸に手をあててみましょう。そして愚かな人間のとげ〜の心を取り去りみんながまるい心になりましょう。そこに真の幸福が生れ出てくるのです。めでたい新年初頭にあたり、はじめに世界の平和を祈り、みんなまるい心で今年も楽しい幸福な、よき年でありますよう祈念致します。

明るい日本は
楽しい家庭から
でございます。

中里村の古文書より

桔梗ガ原 (2)

清津峡小学校長 阿部九二三郎

いまから一七六年前の寛政元年（一七九〇年）の古文書の二枚を口訳してみる。

（一）恐れながら書付をもって申し上げます

越後国魚沼郡田沢村枝郷桔梗ガ原、田中、通り山、商道山、荒屋新田、上干溝、小原、藤原新田の八ヵ村持ちの字桔梗ガ原は、寛延二年、宝暦六年両度の御検地で畑高六十五石弐斗五升弐合、この外に弐十八町六反歩の野手米巻石四斗三升を上納して桔梗ガ原を自由にして来ました。ところが去る辰年（五年前江戸表から秋月嘉一郎、安藤七兵衛様がおいでになり、右の桔梗ガ原の畑地を田地にしようとご吟味になりました。私共八ヵ村はもともと田地が不足のところで、右の畑地が田方になったら百姓共も助かると思い、秋月、安藤両御普請役様がおいでの折に、早速お願いして四年前から右の六十五石余のところ（畑地）を引受け、年貢を上納してきました。ところが、午（うま）年から去年の申（さる）年の三年間精を出して作付けてみましたが、いって の外の悪地でその上困るのは水の便が極めて不便なことです。とく雑所から用水を取入れるので水不足をきたし行き渡りません。これではとても田方に直る場所と思われないので、田方として年貢等をおかけになるのはどうぞ下さるようお願い申し上げます。（中略）この上は御開田に差しつかえるような行為は毛頭いたしません、向後右の六十五石余の場所が立流な田になっても、少しもお願いするようなことはありません。よって小前、惣代連印をもって右の趣御願い申し上げたてまつります。

以上。

寛政元酉年六月

（二）八ヵ村一同定め証文の事

桔梗ガ原御新開一件について中野御役所（現信州中野市）から同所御新開場をひき受けるように仰せ渡されている。しかし八ヵ村は同所をひき受できないことをお互いここに定める。それについて、今後役所へお呼び出しのこともあろうが、その時は村々の惣代をもって、右の訳を申し上げるようにしよう。もっとも、これらに関する諸費用は惣代方から申出があり次第、差しつかえないようお互いに割当て差出すことにしよう。また、手間、人足についてはかわるがわるに相勤めよう。右のように村々一同が相定めた上は、万々一にも申合せにそむくようなことはしまい。後日のため村々惣代印鑑を押すことくだんのごとし

寛政元年酉六月三日

田沢村枝
高道山百姓惣代 作右ヱ門 印
通り山百姓惣代 源右ヱ門 印
田中百姓惣代 市兵衛 印
上干溝百姓惣代 嘉右ヱ門 印
小原百姓惣代 孫左ヱ門 印
荒屋新田百姓惣代 藤兵衛 印
桂百姓惣代 吉左ヱ門 印
藤原新田百姓惣代 定右ヱ門 印

右の二通のうち（一）は村々から役所へ提出したもの（二）は村々の申合せ証文である。各領主は新田を奨励し、収入を増すよう普請役や奉行を各地に派遣し、田になりそうな所は極力御新開場として開墾を計ったのである。

桔梗ガ原は八ヵ村入会（いりあい）場として燃料採集場、草刈場に利用もされ、一部は畑地として年貢賦課の対象になっていたのである。この地を見分した普請役が開田工事を思い立つのは当然であったろう。ところが、実状は一通の古文書に見られる通りであったのである。鷹羽、市之越合地の開発工事が着手された今日、まことに今昔の感が深い。

人生往来

◎産声

子の名	父の名	部落名
服部キミ子	竜一	如来寺
村山美香	高志	田沢
鈴木れい子	秀夫	通り山
高橋田美子	輝政	倉俣
村山真治	忠一	宮中
村山恵子	之和	宮中

◎高砂

〈新郎〉山田虎利（二八）東田尻
〈新婦〉林サク（二七）十日町
〈新郎〉小巻沢春夫（三六）通り山
〈新婦〉大島ミヨノ（三〇）手沢
〈新郎〉宮越一俊（二八）上山
〈新婦〉高見ユリ子（二六）新潟市
〈新郎〉樋口敏雄（三〇）小原
〈新婦〉保坂サチ（二八）宮中
〈新郎〉樋口芳一（四四）荒屋
〈新婦〉犬飼智恵子（二七）津川町
〈新郎〉藤ノ木雪郎（二八）津南町
〈新婦〉鍛野幸（二六）東田尻
〈新郎〉菅原清高（三五）高田市
〈新婦〉山田スミ子（二四）倉下
〈新郎〉板場栄一郎（三四）津南町
〈新婦〉村山ノブイ（二六）東田沢
〈新郎〉樋口誠（二八）十日町
〈新婦〉鈴木ヤチ子（二四）角間
〈新郎〉鈴木恒夫（三三）重地
〈新婦〉鈴木トシヱ（二四）重地
〈新郎〉渡辺克巳（三七）新潟市
〈新婦〉滝沢ミツ（三四）田代
〈新郎〉石沢久四郎（二四）津南町
〈新婦〉井ノ川和（三三）本屋敷

◎昇天

氏名	年令	部落
樋口源八	（八六）	白羽毛
清滝滝之進	（五九）	東田尻
樋口コト	（七〇）	通り山
井ノ川国吉	（七四）	如来寺
広田寅雄	（四三）	干溝
服部サダコ	（六七）	小原
鈴木留五郎	（八一）	重地
大島兼治郎	（七四）	牧畑
南雲シモ	（七一）	堀ノ内

第128号 (昭和37年6月27日 第三種郵便物認可) なかさと 昭和42年1月15日 (2)

年頭の辞

中里村議会議長 斉喜政治

昭和四十二年の新春を迎えるにあたって、一言御挨拶を申しあげます。旧年中は公私共々一方ならぬ御支援と御協力をいただきまして、有難く厚く御礼申しあげます。なお本年も一層の御指導とお力添えをたまわりますよう心からお願い申しあげます。

昨年は我が中里村が創立十周年の記念すべき年であり、役場庁舎の新築をはじめ、中央地区水道敷設、釜川橋の竣工、清津峡小学校、田沢小学校の一部改築、その他数々の村営、県営の事業が行なわれ、まことに意義深い年でございました。更に中里村発展の将来を左右する清津川右岸段丘地の開発工事もようやくたく竣工となり、他の構造改善事業と併せて本年こそ一大進展を期さなければならない重要な段階に入ってまいりました。本計画の完成と相俟って、清津川の河状整理とともに伴なう百町の荒廃地の復旧実現の暁、我が中里村の水田は約現在の六十五%増となり、更にこれが省力栽培の実を揚げ、他産業との組合わせを計り、農家所得の増強をはかると共に、観光誘致等による外貨の獲得に力を注ぐ時、中里村の発展は実に期して待つべきものがあり、名実共に中魚沼の中心郷として前途洋々たるものがあると信じます。これら実現のためにはまずもって高田―松之山―六日町線の早期完遂を期し併せて既設道路の整備、橋梁の新設等着々実行に移して行かねばなりません。然してこれらの問題を解決するにはなんといっても強力な政治力と村民一致の協力が絶対必要であることは申すまでもありません。

昨秋来、中央政界はじめ地方行政の中にも兜角の批判を耳にすることは真に遺憾であって私共は常に清く明るく正しい行動のもと、一致協力、郷土の発展に邁進いたしましょう。何をなすにも健康が一番大切であることは申すまでもございません。

ことに新しい年を迎えるにあたって全村民各位と村外在住の皆様がますます御健勝で今年こそ御一家の繁栄と郷土の振興の上に最良の年でありますよう、心からお祈り申し上げ年頭の御挨拶といたします。

年頭所感

＜紙上年賀＞

▽中里村体育協会理事長 藤田博

謹賀新年、近年、国でも県でも、スポーツの振興に積極的になってまいりました。村体育協会もこの施策に沿うべく誰でも気軽に参加出来るような体育協会の活動を目標に鋭意努力中でありますので、村民各位の御協力と御鞭撻を、お願いします。

三島郡出納長 山崎 登

あけましておめでとうございます。今年の抱負を申し上げて皆さんと一緒に村の開発を推進めたいと思います。村とのコミニケーションを一層深めて親しみのある応待とサービスを駅の心構えとしていきますので何卒絶大なる御支援を、お願いいたします。

▽中里村老人クラブ連合会長 小柳善作

新年おめでとうございます。終戦二十二年、わが国の発展は世界の驚異の的となりよろこびにたえません。しかるに今前国の衰亡に国旗の掲揚の少なきは誠に遺憾であります。日本に生れ、日本人としての誇りをもって国旗の掲揚を熱望します。

▽中里村連合婦人会長 高橋敬子

新年おめでとうございます。今年は、学習活動と並行して、奉仕活動に力をそそぎたいと思っております。育少年問題協議会、PTAの方々とも連絡をとり、子ども会づくりのお手伝いなども、積極的にやりたいと思っております。

▽交通安全協会中里支部長 広田一政

年頭に当り、本年も正しい運転と、正しい歩行を守りますようおねがい致します。

▽田沢駐在所 吉越実

新しい年を迎えるに当り、今年こそは中里村から交通事故、犯罪を追放したいものです。明るく平和な、中里村のために

▽中里村民生委員総務 大島孝平

多くの施設と社会事業に貢献する共同募金の完納に感謝する。張りあいと希望を失った老人のクラブを作って援助したい。身体障害者対策として実態調査を行いたい。子ども会、明るい家庭作り運動を通じて、青少年の育成を計りたい。

▽中里村PTA連絡協議会長 岡村民三

光輝ある新年を迎え、PTAの皆様、おめでとうございます。年頭に当り、PTA連絡協議会は、村の教育行政に対する輿論機関であることを自覚し、且つ協力致し以って学校教育の成果を挙げ伝統と国体を芯とした立派な児童生徒の育成に努力致す所存ですのでよろしくお願い致します。

▽中里村商工会長 広田義一

新年おめでとうございます。希望新たに中里村の発展と、村民生活向上に微力ながら尽したいと存します。社会の進展に沿って村内商工業者一同、経営の近代化を図り、サービスの向上と安定した成長をめざしています。村民各位のご鼎頭とご鞭撻をお願い申します。

▽田沢中学校長 藤田庚二

歴史と伝統について

終戦後二十年、教育は歴史や伝統について、その手がかりを失った感がある。精神的なものを見ぬふりをし、こわごわ若い者にふれてきたはいなかったか。歴史はそれでも続く。しかも伝統を失いつつ続く。このことを考えたいと思う。

▽津南地区農業改良普及所々長 清水文平

中里村の皆さん、おめでとうございます。今年は中里村の農業にとって飛躍の年となりましょう。それは待望の段丘地開発、農業構造改善事業の着手と共に、畑作物が集約化され産地化の緒となることです。観光と農業の地の利に、人の和をもって、村名にふさわしい、地域の建設に努力いたしましょう。

▽中里村青年会長 岡村弘志

年頭に際し、日頃私達青年会に対する御協力に厚く御礼申し上げます。本年は各種団体との連携プレーの基「期待される青年」をモットーと致し、村民各位の御協力と御指導を、お願い致します。

▽中里村消防団長 鈴木国一郎

新年お目出とうございます。消防団では、常に災害の予防や防犯活動に力を入れて、皆さんの尊い生命財産を守るために努力しておりますが、なんといっても皆さんの協力がなければ防ぎ切れませんので、今年もみなさん方の御協力を、お願いいたします。

▽中里村農業協同組合長 上原国一

一九六七年のねがい

一、政治的にいろ〜のことが予想される年"殿鑑遠からず"我等のもつ最高の権利、最大の義務、の行使は慎重に、最も信頼される代弁者を送り出したい

二、段階的だが、農協合併が実現する年、その前奏曲より、「ヨカッタ」の炉辺の声をきくよう相互協力の実績に"努力鶴首"

▽十日町保健所長 丸田貞介

雪理要有野 満目白銀々
重馬風難逃 家雪復不来

室成陰湿潤 庭化丈余台
但省明風暴 人和道自開

若い世代で中里を

倉俣中三年 高橋実

私は、今春に卒業をひかえている一中学生です、私達が住んでいる中里村は、今々大きく飛躍しようとしている。大きく例えれば、パイロット事業計画を土台として数々の事業、三校統合計画。その他私の知らない数々の問題に、大きな功績を残すことであろう。しかし、この村にも、私が考えるに大きな問題があると思う。その問題というのは、人口問題及び離村問題ではないかと思う。若い者が「こんな村よりも、都会の方が良い」などと言ってみんながみんな、村を去ったのでは、今の日本の農業問題の一つとなっている「老人と三供達ばかりの村」になってしまうのである。財政が乏しく貧弱な所ほど若いエネルギーと時代の波にマッチした若者の力が必要ではないかと思う。もちろん年配の人達は、年配者として尊重し、色々な面で助けてもらわねばならない。これからの中里は、若い力があってこそ大きく発展するのではないたろうか。年頭に当って私たちはもう一度この問題をしんけんに考えてみたいと思う。

(3) 第128号 (昭和37年6月27日 第三種郵便物認可) なかさと 昭和42年1月15日

年頭の辞

教育委員長 藤田五郎

昭和四十二年、羊の年を迎え心からなる新年のお祝いを申し上げ皆様の御多幸と御健康を衷心よりお祈り申し上げます。昨年は馬年で人間万事寒翁の馬と申し、世の中のことはあらかじめ測り知ることが出来ませんがはたせるかな政界は思いがけぬ黒い霧につつまれて、国内県内共に不測の事態が続出しましたことは誠に遺憾至極でありました。内閣もこれに対処して改造人事が行なわれ、再出発の態勢をとり、国会もついに解散されるに至りました。本年は衆議院、県議会議員選挙に加え村議会議員選挙もあり選挙の当り年であります。選挙に臨んでは、お互いに衿を正し立派な人物を送り出すことに努めなければなりません。終戦以来既に二十二年独立後十五年、今や苦難と試炼を続け乍らも、経済の発展は世界各国の驚異の目にまで発展して参りました事は、御同慶にたえません。しかし乍ら国内の諸事情は、手放しで喜んでいる場合では絶対にありません。それを現在の世相が如実に物語っているのであります。その最もたるものが道義の退廃であります。この道義の退廃が黒い翼につらなり、青少年の非行にもつらなるのであります。徳育の重要性を痛感すること、今日程切なる時代はありません。知育徳育、体育が教育の中核であり学校と家庭と社会がその殿堂であります。従って学校教育にのみ依存することなく家庭教育、社会教育の重要性も認めて頂きたいのであります。国連の消長は、一にかかって、教育の力にあることは論をまちません。全村民各位の絶大なる関心と御協力を希い道義の退廃から脱却して佳みよき村作り、国作りの為、日本古来の麗しい精神文化を国の繁栄に結びつけ真の民主主義精神に徹し自信と勇気をもって行動出来る人間として活躍されることを念願するものであります。エマーソン曰く「自信ある行動は一種の磁力を有す」と。

本年は羊の年であります。羊はその容姿は温和で性質も従順、羊毛は柔軟であらゆる点で優れた動物であるので古来神に献げる犠牲として尊ばれてきました。従って羊の字は福又は吉の意味をもち、示へんをつけると祥（さいわい）の字となり我が国の字となります。しかし人が猫ならぬ羊をかぶって善良を装うと祥（いつわり）の字となるのであります。古来統治されるものを羊、特に迷える羊に比した、たとえば色々用いられています。民主政治とは羊の群の政治と申せましょう。しかしそれには羊の各自が善悪美醜をはっきり判別することに努力すると共に、お互が自己を犠牲として正義を重んじなければなりません。

さて、昨年中の教育行政の中、主なるものは清津峡小学校の新築落成、田沢小学校の一部増築、倉俣地域に教員住宅の新設、田沢中学校屋外運動場の拡張用地買収、役場庁舎新築に伴う用庁舎を公民館に転用等でありましたが、本年度の施設々備、配置等の重要問題に関してはあらゆる資料に基き、教育委員会の総力を結集して、その重要度と緩急順序をあやまらざるよう善処する所存であります。又社会教育、特に公民館活動につきましては、現在の世相に鑑み、社会教育委員、公民館長、社会教育主事の積極的な活躍により万全を期して参ります。前途に洋々たる幾多の夢を抱く、吾が中里村教育の部門に於ても多くの夢がありますが迷わず、迷わされず夢を追うべきであります。羊頭を掲げて狗肉を売るが如きことは厳に戒めましょう。終りに臨み、教育の振興発展につきましては、本年も更に一層の御理解と御鞭撻を希って年頭の辞と致します。

雪国と交通

田沢駐在所

新年おめでとうございます。雪国高田で生れたので、この位の雪に驚きませんが、高田は長い間に雪を処理することが上手になっているとのことです。屋根から下ろしたら、平らにならし、道路を歩く人、ソリを引く人が雪は責任を持って、雪捨てすることです。標様、中里村の現況はどうでしょう。事更道路に屋根から落しっぱなし、ブルトーザーが通って開けたところに我れがちに雪を出す人、道路に屋根の雪が、なぜで落すようにしている人が多い。警察は公のため、人命の保護と民生安定のため、警告、注意しています、悪質な人には、法律により処分しなくてはなりません。権利を主張するまえに義務をはたすことです。

▽犯罪白書

昭和四十一年中に中里村で、刑法犯二十一件、交通事故、十三件、その他二件で、成人五名少年九名を、それぞれ補導、検挙しました。今年こそ犯罪のない、交通事故のない、明るい村にいたしましょう。

「防犯は一人一人が守る道」

家庭教育

田沢小学校校長 伊藤義男

現在は、「家庭教育の貧困」というよりは「家庭教育不在」の混乱」「家庭教育不在」といった方がぴったりするということを読んだことがある。

昔の民親は『私は目弊なら人間で教育もありません。新しい教育知識なとありませんが……』と、極めて謙虚であった。子供に対する医学上の知識など、今と比べものにならない。

◎子どものしつけ

◎子どもの言葉

◎子どもの心なり等

について、しっかりした考えのもとに、しっかりつけさせようと厳しかった。

なまじっか新しい教育の方法についての知識が、かえって、『母過保護』になっていやしないだろうか。

家庭教育の土盤は、親が健全な生活を営む限り、自然な愛情をもって、子供を見つめ子どもが次第に自立できるように仕向けてやることではないだろうか。

新春文芸

——一月投句——

短歌

井ノ川玉治

浄めたる心々に行き交うる老杉
繁き参道の春

天に地に海山かけて華あれと只
ひたすらに希ふ此の年

鷹の巣の碌も流れも新しく明け
ゆく春を寿ぐがごと

俳句

桂仙

新雪を薬缶鳴らし初詣
春雷

初詣六十路へ呼吸整いて
閑史

ほた雪も晴れて寄り合う茶呑運
海人

新妻は何を願いの初詣り
玉泉

友情の賀状に温し宿煙草
拾蔵

納豆するとぎれや屋根の雪下し
涼子

新磨を壁にかけて満つるもの
おの江

鏡餅据えて遠層今日華
芒月

門松に袖すりあたり客変る
直春

大杉の注連につらゝの初詣
正

雪搔をアーツが手を引き初詣
一枝

新春の横断の鏡装い見る
露丘

初春や雪の苗場が威を正す
三代

なつかしき賀状にしばし若返り
梢陽

四月はや朝餉まちまち共稼ぎ
キミ

初日の出拝手を打つ銀世界
時習

元朝の心ありたいいつまでも
土牛

雪晴れて一呂屋根の人となる